

厚生労働省 介護ロボット地域フォーラム事業
介護ロボット神奈川フォーラム2020

介護現場における導入事例紹介
「ナノミストバス ベッドタイプ」活用事例

令和3年1月12日（火）
社会福祉法人隆徳会
特別養護老人ホーム サニーヒル横浜
施設長 清水 千津

施設紹介

1. 法人名：社会福祉法人隆徳会
2. 施設名：特別養護老人ホーム サニーヒル横浜
3. 施設住所：横浜市旭区上川井町426
4. 併設サービス：短期入所生活介護
5. 要介護度別利用者数：135名（令和2年11月1日 現在）
 - 要介護1： 0名
 - 要介護2： 4名
 - 要介護3： 40名
 - 要介護4： 55名
 - 要介護5： 36名
6. 従業員数：129名



試験導入したロボット

1. ロボット名：ナノミストバス ベッドタイプ
2. メーカー名：株式会社アイン
3. 分野：入浴支援
4. 機能：設備工事なし、簡単に移動ができる、居室での寝たままでの入浴ができる、超微細な粒子を使ったお風呂
5. 導入台数：1台
6. 導入期間：①平成31年1月16日(水) から1月25日(金)
②令和2年1月25日(土) から3月24日(火)
7. 評価期間：同上

試験導入したロボット



ナノミストバス



ヘッドスパ使用の様子

EINSホームページより抜粋

試験導入の目的

【課題】

- ・ 一般浴室が2ユニットに1つ、特殊浴槽が全体で2つと浴槽が全体的に少ない
- ・ 開設から10年が経過し、平均介護度も3.9～4程度となり特殊浴槽の使用スケジュールを組む業務が煩雑化してきた
- ・ 特殊浴槽の増築などの場所や費用面の問題がある

【目的】

- ・ 特殊浴槽での入浴とほぼ変わらない効果がのぞめるのかの検証
 - ＊①の期間では短すぎたため、再度②の期間で検証を実施
- ・ 介護職員のみでの準備や操作が可能かの検証

試験導入に際する事前準備

- ①介護職員への説明
- ②使用するご利用者の選定
- ③使用スケジュールの調整（使用場所など）



使用状況(①平成31年1月16日～1月25日)

- ・ 使い手（介護職員）の人数：10名
- ・ 対象となる（利用者の）人数：5名
- ・ 対象となる（利用者の）範囲：要介護度4・5
- ・ 使用場面：入浴
- ・ 使用頻度：週2回



使用状況(②令和2年1月25日～3月24日)

- ・ 使い手（介護職員）の人数：20名
- ・ 対象となる（利用者の）人数：12名
- ・ 対象となる（利用者の）範囲：要介護度4・5
- ・ 使用場面：入浴
- ・ 使用頻度：週2回



試験導入して良かった点

- ①ご利用者の拘縮が弛緩した
- ②ご利用者が使用中気持ちよさそうな表情をされ、眠っていた
- ③移乗の回数が減り、介護の負担が減少した
- ④移乗の回数が減り、事故防止にもつながるように感じた
- ⑤介護職員の準備がほとんど必要なくなった
(職員自身の着替えなど)



メーカーへの要望

- ①垢が取れていないように感じることや、汚れが落ちないこともあったので、洗髪用だけでなく部分的に洗い流せるようにしてほしい
- ②長期間利用すると、特殊浴槽では可能である臭いの解消ができないご利用者が多かった
- ③台が上下するようにしてほしい
- ④マットの消臭対策ができるようにしてほしい



まとめ

- ①導入のきっかけは、「介護・生活支援ロボット活用研究会」の報告を聴講したことであった。今後ロボットの普及を推進していくためには、この研究会活動の活用を考えていくとより良いのではないかと思った。
- ②入浴は欠かせない介護であるため、メーカーへの要望の中で、普遍的なものは取り入れていただくことで、使用する施設は増えるのではないかと思う。
- ③使用する水の量がとても少ないので、災害時の活用も含めて検討できるとよいのではないかと思う。

まとめ

④②の期間はコロナ禍で業者とのコミュニケーションが取り難い難状況であった。そのため、効果が見えにくくなってしまったことも考えられる。やはり新しい機器の導入時には、業者とのコミュニケーションがとても重要だと感じた。

⑤1週間ではわからなかった問題点が2カ月使用することで見えてきた。せっかく購入しても結局使用しなくなると、「ロボット」全般に対する嫌悪感が生じてしまうので、最低でも1か月程度の試用期間があるとよいと思う。

＊研究会などその橋渡しをする役割を担う機関があるとよいのではないかと思う。

ご覧いただき
ありがとうございました。

